

2025年12月14日(日)

◇JR路線再乗車の旅◇

2025年冬の青春18きっぷの旅の3日目は、いわきと郡山を結ぶ85.6kmの磐越東線に乗車することにしました。磐越東線には2010年3月17日に仕事で福島方面へ出張した際に乗車しており、乗車した列車も当時の時刻表で調べていました。しかしJR東日本の路線では他に再乗車する路線が見当たらなかったため今回は磐越東線に乗車することにした次第です。

東京を出発して磐越東線に乗車するに当たり、いわきから乗車するルートと郡山から乗車するルートを比較してみると、いわきから郡山に向かうルートの乗り継ぎの方が良いことが分かりました。そこで、東京を8時36分発の上野東京ラインの電車に乗り、上野発8時49分の常磐線に乗換え、水戸で乗り継いでいわきに12時39分に到着しました。

現在の磐越東線のダイヤでは、いわきから郡山までの全区間を運転する列車は6時42分、8時30分、13時27分、15時45分、19時49分の5本しかありません。そのため、東京出発の場合であれば必然的に13時27分発の電車となります。

いわきでは13時27分の列車の発車まで50分弱の待ち時間があったので、駅前の焼肉屋で昼食を食べることにしました。昼間なのでアルコールは飲みませんでした。この店の各テーブルには回転寿司屋のお湯のサーバーと同じようにレモンハイが出る自動サーバーが備えられていることに驚きました。

昼食を終えて駅に戻り、13時27分発のディーゼルカーに乗車して出発を待ちました。2両編成の車内はボックス席に1人か2人が座っている程度でした。

<2025年12月14日>

- 東京
 - | 08:36 発
 - | J R上野東京ライン 普通 上野行き
 - | 08:41 着
- 上野
 - | 08:49 発
 - | J R常磐線 普通 勝田行き
 - | 10:58 着
- 水戸
 - | 11:10 発
 - | J R常磐線 普通 いわき行き
 - | 12:39 着
- いわき
 - | 13:27 発
 - | J R磐越東線 普通 郡山行き
 - | 15:37 着
- 郡山
 - | 16:30 発
 - | J R東北本線 普通 新白河行き
 - | 17:09 着
- 新白河
 - | 17:12 発
 - | J R東北本線 普通 黒磯行き
 - | 17:35 着
- 黒磯
 - | 17:42 発
 - | J R東北本線 普通 宇都宮行き
 - | 18:34 着
- 宇都宮
 - | 18:36 発
 - | J R東北本線・上野東京ライン 普通 平塚行き
 - | 20:30 着
- 東京



いわき駅

いわきを出て最初の駅が赤井ですが、赤井の地名には約40年前の思い出がありました。当時、太平洋の沿岸から沖合を飛行する航空機を監視する洋上航空路監視レーダー（ORSR）の設置場所を調査する仕事を担当しており、その目的でいわきを何度か訪れて市内の水石山をレーダーの設置場所に選定しました。そして、そのレーダーを管理する事務所として選定した場所が赤井駅の近くでした。レーダーは現在も水石山で運用されていますが、赤井にあった管理事務所は既に廃止されているようです。今回、赤井を通過した時に40年も昔のことを思い出しました。

磐越東線のダイヤ

列車種別	普通
いわき	13:27
赤井	13:32
小川郷	13:38
江田	13:49
川前	14:01
夏井	14:11
小野新町	14:36
神俣	14:43
菅谷	14:47
大越	14:56
磐城常葉	15:01
船引	15:06
要田	15:14
三春	15:23
舞木	15:31
郡山	15:37

赤井を過ぎ夏井川沿いに山に向かうと上り勾配となり、いわきの景勝地である夏井川溪谷があります。郡山までの中間あたりにある小野新町では列車交換と時間調整のため21分も停車しました。このあたりの沿線には、昔の萱葺きの屋根を金属で覆った大きな家があちこちに見られました。要田を過ぎたあたりで車内アナウンスで沿線の竹が雪で折れて線路を塞いでいるとの情報があり、列車が徐行するため少し遅れが出てきました。先頭車両で前方を見ていましたが、それらしき竹は見つからず何事もなく無事に通過することができ、郡山には15時37分の定刻から1分の遅れで到着しました。これで磐越東線は全線を再乗車することができました。

郡山からはいつものように東北本線乗り継いで東京に戻ります。電車の乗り継ぎを調べてみると、郡山を16時30分に出発する新白河行きに乗り継ぐのがベストとわかり、新白河、黒磯、宇都宮で乗り継いで東京には20時30分に到着することができました。これで、2025年冬の青春18きっぷを使った3日間の旅は終わりです。帰宅後に列車内から旅の様子を報告していた友人から返信があり、3日間で乗った鉄道の乗車距離を聞かれました。今までは時間のことしか気にしていなかったので、乗車距離は計算したことがありませんでした。そこで、乗り継ぎソフトに書かれていた鉄道の路線距離を3日分合計すると約1,800kmで、羽田から能登までのフライト距離を合わせると今回の旅での総移動距離は約2,100kmとなりました。



小野新町で停車中の車両

